



大西さとし 市議会だより

2018. 4
No.028

高松市議会 平成 30 年 第1回(3月)定例会の報告



◆第1回(3月)定例会

高松市議会は、3月5日から26日までの26日間の日程で平成30年第1回定例会(3月議会)を開催し、平成30年度一般会計など59議案を可決承認するとともに、議員提出議案7件のうち、3件を可決、2件を否決、2件を継続審議としたほか、陳情2件のうち1件を採択、1件を継続審議とし、人事案件9件に同意しました。

◆質 疑

本議会において質疑を行い、市政の各事項について行政の考えを質しました。
(質疑項目・内容および、答弁の概要については裏面に掲載)

◆2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における「ホストタウン」および「共生社会ホストタウン」

本市は、昨年12月、東京オリンピック・パラリンピックを契機として、参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図り、地域活性化等を推進する「ホストタウン」と、政府が新設した、ホストタウンの枠組みにおいて、特にパラリンピック選手との交流をきっかけにした共生社会の実現に焦点を当てた取組を推進する、「共生社会ホストタウン」に登録されました。

これら登録は、実際にパラリンピアンと交流する機会ができることで、東京オリンピック・パラリンピックをより身近に感じられることや、また、誰もが暮らしやすいまちづくりの推進にも繋がることから非常に期待をしているところであります。

○ホストタウン

2020年の大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げる。

- ・オリンピックとの交流を通じ、スポーツの素晴らしさを学ぶ
- ・大会参加国の方々との交流を通じ、外国を知り日本を伝える
- ・パラリンピアンとの交流を通じ、共生を学ぶ

○共生社会ホストタウン

パラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現のための、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーの取組を実施するホストタウンを促進する。

これにより地域主導の共生社会の実現を加速すると共に、パラリンピックに向けた機運を全国に波及させる。

- ・共生社会の実現に向けた取組の推進
- ・東京大会の事後交流も含めた、幅広い形でのパラリンピアンとの交流

これからも、市民の皆様が、夢や希望を抱き続けることが出来るよう、全身全霊で取り組んで参る所存でありますので、引き続きのご支援、ご協力、また叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

大西 智

3月定例会 質疑項目

1 観光振興について

(1) 本市の観光における経済効果など動向

- (2) 外国人観光客向けウオーキング観光に取り組む考えと、観光客にとっての本市のトイレ環境に対する考え
- (3) 卸売市場を観光資源として、どのように生かしていくのか
- (4) 外国人観光客数の把握を、どのように行っているのか。また、官民連携により収集したデータを、オープンデータとしてスマートシティの実現のために取り入れ、観光振興施策に活用する考え

(5) 海外における戦略的なプロモーションなど、インバウンド戦略への考え

(6) シビックプライドの向上や、まちの魅力・価値を高める好循環を生み出すことのできる インナーブランディングの推進に取り組む考え

2 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン・共生社会ホストタウンについて

(1) 日本パラ陸上競技選手権大会や東京パラリンピックに向け、共生社会ホストタウンとして、どのように機運を高めていくのか

(2) 日本パラ陸上競技選手権大会の開催や東京パラリンピック事前合宿等を活用し、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた、モニターとしての役割を担ってもらう考え

質問および答弁の概要(抜粋)

1. 観光振興について

<質問>

(1) 本市の観光における経済効果など動向

市内総生産や、観光消費額、波及影響額などを把握し、具体的な数字やデータを共有することは、観光産業が市経済に与える影響の大きさについての認識が共有できるとともに、観光振興施策への納得性が高まり、官民連携が強まる大きな要因となっているのではないかと。

また、客観的なデータを各種施策に反映することで、明確な目標設定、戦略的な計画、客観的な効果の評価、効果的な改善とつながり、PDCAのサイクルがしっかりと確立できるのではないかと。

そこで、本市の観光における経済効果など、動向は。

<答 弁>

本市では、毎年県が作成している「香川県観光客動態調査報告」を、今後の観光振興施策の推進に活用している。

最新の平成28年の報告によると、県外からの観光客における消費金額は、宿泊観光客と日帰り観光客をあわせ、年間1,014億8千万円と見込まれており、前年に比べ、約16%減となっている。

一方、観光客の総数は増加しており、市内の主要観光地である、屋島は、50万2千人で約13%増。栗林公園は、70万5千人で約7%増となっている。

<質問>

(6) シビックプライドの向上や、まちの魅力、価値を高める好循環を生み出すことのできる、 インナーブランディングの推進に取り組む考えについて

高山市では、「バリアフリーのまちづくり」や「観光振興」に取り組むことで、インナーブランディングの推進にもつなげているとのこととあります。

アウトナーブランディングは、外に向けた価値や魅力を知ってもらう取り組みに対して、インナーブランディングは市内、市民に対するもので、これまで気づかなかった魅力や価値を知ること、郷土を愛する思いや誇りが持てることで、まちの魅力や価値の更なる向上につながるといった好循環を生み出すことができるのではないのでしょうか。

<答 弁>

本市においても、来年度から第二期まちづくり戦略計画における、重要課題として取り組む6つのテーマの一つに、市民の皆様の本市への「誇り」や「愛着」といった、いわゆる「シビックプライドの醸成」を掲げており、インナーブランディングとも、その趣旨や目指すべき方向性を同じくするものと存じている。

今後とも、本市自治基本条例で定める「情報共有」「参画」及び「協働」の三つの自治の基本原則の下、生活基盤を支える行政サービスの向上や都市機能の充実・強化を図ることなどにより、都市としての魅力や価値を更に高め、まちづくりの担い手である市民の皆様の本市に対するシビックプライドが、より一層醸成され、ひいては、それが、本市のブランド力の向上や、まちづくりの好循環につながっていくよう取り組んで参りたい。

2. 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン・共生社会ホストタウンについて

<質 問>

(2) 日本パラ陸上競技選手権大会の開催や、東京パラリンピック事前合宿等を活用し、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けたモニターとしての役割を担ってもらう考えについて

本市では、オリンピック・パラリンピアンとの交流やユニバーサルデザインのまちづくりなど、スポーツの振興や教育文化の向上、さらには、共生社会の実現に向けた取組を推進するとしている。

日本パラ陸上競技選手権大会の開催や、東京パラ事前合宿等を活用し、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けたモニターとしての役割を担ってもらうことは、共生社会の実現に繋がる絶好の機会ではないか。

そこで、日本パラ陸上競技選手権大会の開催や、東京パラリンピック事前合宿等を活用し、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けたモニターとしての役割を担ってもらう考えは。

<答 弁>

先月実施した、台湾のパラリンピック選手等との交流事業では、屋島や中央商店街等を視察していただき、通路の段差、多目的トイレの広さやサインの表示の大きさなどについて、貴重なご意見を頂いたところである。

本市では、本年9月に、日本パラ陸上競技選手権大会の開催を予定しているとともに、東京パラリンピック事前合宿の誘致にも取り組んでいるところであり、そのような機会を捉え、訪れた選手等にモニターとしての役割を担っていただき、当事者の足り場からのご意見を頂くことは、時宜を得た有意義な試みであると存じることから、今後、ご協力がいただけるよう、関係者と協議をして参りたい。



活動日記



1 / 18,19
高松市観光振興議員連盟
高山市視察



1 / 20
高松北ライオンズクラブ
献血ボランティア



1 / 26,27
地方議員研究会セミナー
「国の動きと制度の基礎的解説」



2 / 7
連合香川東地域協議会
第 11 回定期総会



2 / 9
香川県市議会議長会
第 20 回議員研修会



2 / 11
「建国記念の日」を祝う香川県民の集い



2 / 11
高松北ライオンズクラブ
檀紙ファイターズ旗争奪 児童フットボール大会



2 / 16
香川民社・ユアイ KAKKIN 香川
施設見学会 (九州電力総連)



2 / 23
高松市
共生社会ホストタウンに伴う研修



3 / 3
民社協会
平成 30 年 総会



3 / 16
木太北部小学校
第 28 回卒業証書授与式



3 / 24
木太保育所
就学する子どもを送る会

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒761-8550

高松市室新町 973-1 高松電気ビル 5階

TEL(087)880-7772 FAX(087)880-7783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730

